

データで見る青葉区

2012年度の区別課税額などが9日、青葉区区づくり推進議員会議で発表されました。

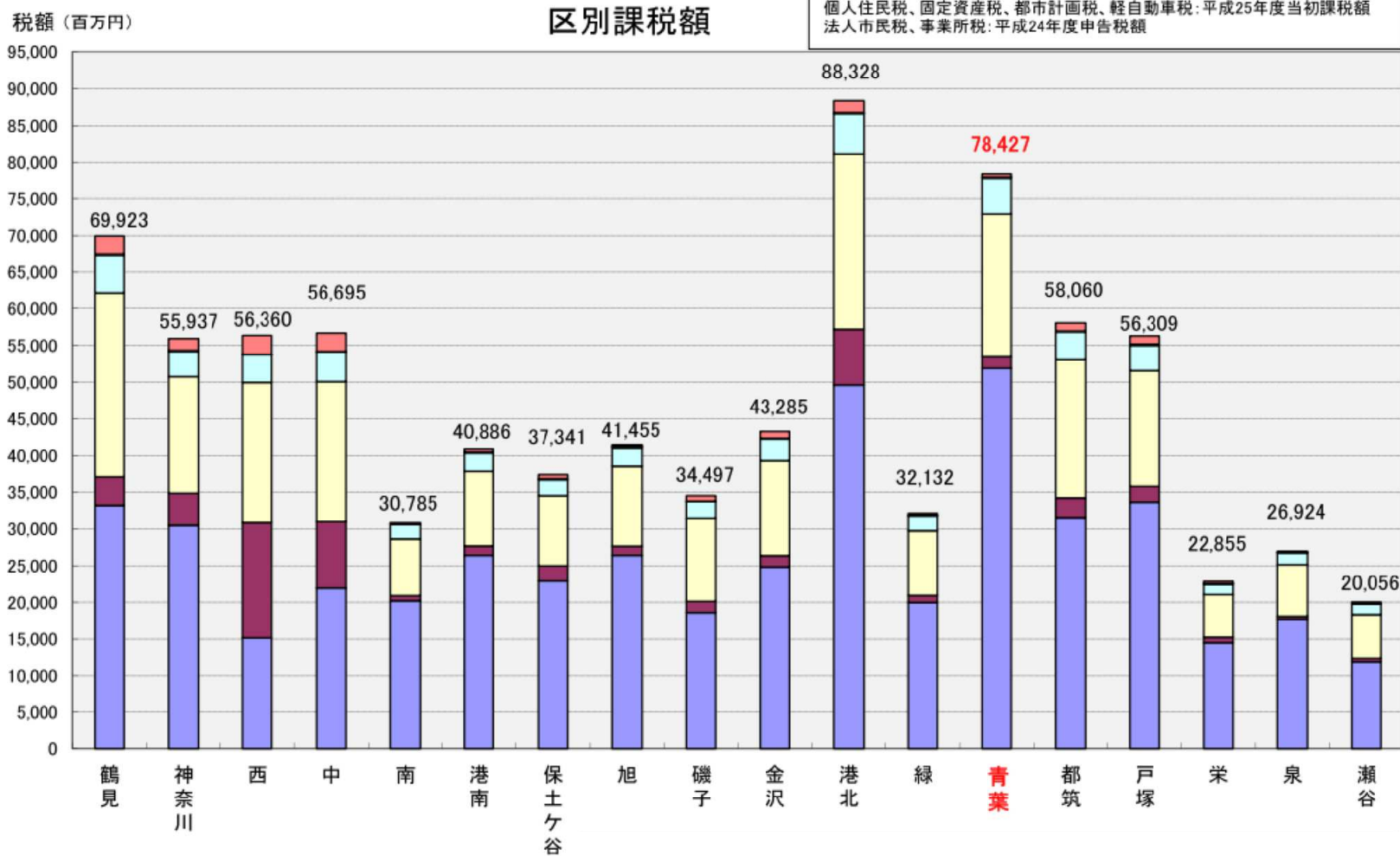
全課税額では港北区が1位、青葉区が2位ですが、個人住民税については青葉区民が18区内で一番多く納めていることがわかりました。一人あたりの課税額は、市全体では15万5,350円ですが、青葉区はそれより1万3,303円多い16万8,653円となっています。

一方、全課税額が一番多い港北区では、横浜市の副都心の新横浜駅周辺での企業集積などにより、固定資産税と法人市民税が全体額を引き上げています。

このグラフから見えるのは、横浜市の税収を引き上げるためには、住民に住みやすいまちづくりと同時に、各区の中小業者をはじめとする企業が隆盛し、法人税収入を増やすことです。そのためにも各区の地域経済を振興・発展させることが求められています。

現在の区は市役所の出張所ともいうべき行政区です。区のことには区で解決するという自治機能を持っておらず、区には経済振興を進めるセクションもありません。高齢社会が進む中、住みよいまちをつくるためにも区の機能強化が必要です。

青葉区 個人住民税18区中第一位



※ 課税額に対し、2012年度の実際の税収納率は、青葉区98.5%、港北区98%です。

■個人住民税 ■法人市民税 □固定資産税 □都市計画税 ■軽自動車税 ■事業所税

※ 個人住民税＝個人市民税＋個人県民税